

令和2年度第1回嘉麻市地域福祉計画策定委員会 会議録

- 1 審議会等の名称 嘉麻市地域福祉計画策定委員会
- 2 開催日時 令和2年7月13日(月) 9時30分～10時50分
- 3 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 5A会議室
- 4 公開又は非公開の別 公開
- 5 出席者
 - (1) 委員 平尾 みづえ、渡辺 進、古川 勤、富崎 静枝、栗野 良一、平尾 節子、池田 幸子、本郷 秀和、村谷 京子、永尾 富久美
 - (2) 執行機関 福祉事務所長 石松 香織
社会福祉課 課長 長岡 和広、課長補佐 梅井 史枝
主任 手嶋 由奈、任期付職員 石本 理沙
- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び審議の主な内容
 - (1) 開会のことば
 - (2) 委嘱書交付
石松福祉事務所長より代表して渡辺委員交付
 - (3) 所長あいさつ
 - (4) 自己紹介
 - (5) 欠員に伴う委員長の選任
渡辺 進氏(嘉麻市社会福祉協議会事務局長)を委員長に選任
 - (6) 諮問
 - (7) 議事
 - ・第2期嘉麻市地域福祉計画策定スケジュール(案)について
 - ・第2期嘉麻市地域福祉計画アンケート調査(案)について
- 8 議題及び審議の内容
 - (1) 第2期嘉麻市地域福祉計画策定スケジュール(案)について
第2期「嘉麻市地域福祉計画」策定委員会スケジュール(案)についての確認。全委員から了承を得た。
[質疑応答] なし
 - (2) 第2期嘉麻市地域福祉計画アンケート調査(案)について
地域福祉の推進に関するアンケート調査の概要について事務局から説明。基本的に前回の調査と同様の内容とし、事務局にて事前に修正を行った箇所について説明。アンケート調査案について修正がないかの確認を行い、全委員から了承を得た。

[質疑応答]

- 県の高齢化率より市の高齢化率は高いので、年代別で集計した方が良いのでは。
→事務局回答：今回は、3,000人を無作為抽出で行う。クロス集計を行うので、年代別の考えについてはクロス集計にて抽出を行いたい。
- 委員意見：記載することが難しい高齢者が多いと思うがそこはどう考えているか。
→事務局回答：同居の家族や施設、医療機関などの職員による聞き取りにて回答していただければと思っている。
- 想定する回収率は。また、回収率が5割を切った場合はどうお考えか。
→事務局回答：通常5割満たない程度の回答率である。今回は、3,000通のうち、約1,200通の返却率を予想している。
- 委員意見：統計学上95%の信頼レベルは確保できるようなので、問題ないと思われる。
- 問2同居家族についての問いで、特に自宅中心の生活をしている人を聞き出すことは可能か。特に国が目指しているのは、地域共生社会の実現が地域福祉計画の大上段にあるので、今まで想定されなかった人の意見が聞けるのではないか。
→事務局回答：挿入は可能であるが、どの設問に追加するかは検討が必要。
- 委員意見：対象者と対象状況を分けて問うと良い。また、選択肢4を高校生だけでなく大学生も入れると良いのでは。
→事務局回答：挿入する方向性で検討する。
- 問4の回答方法を1つに○ではなく、あてはまるものすべてに○が良いのでは。
→事務局回答：差を出すため1つに絞った。1つが難しければ再度検討する事も可能。
- 委員意見：ご近所の人でも付き合いの度合いによるので、1つに絞るのは厳しいのでは。
→委員：この設問にて何を聞き出したいかによるのでは。
→事務局回答：整理して検討する。
- 問8地域の行事や活動についての関心度の変化や問14必要な福祉サービス情報の入手状況について、理由を問うと良いのでは。
→委員意見：問9でネガティブな部分についての質問はあるので、問8でポジティブな部分である関心を持っている方の理由も問うと良いのでは。
→事務局回答：理由を問う方向性で検討する。
- 問19住民相互の支えあいの必要性について必要ないを選択した場合や、問20住民相互の支えあい活動へ参加しないを選択した場合も、理由も問うと良いのでは。
→事務局回答：理由を問う方向性で検討する。

■問 2 1 社会福祉協議会の事業のうち、選択肢 4 の権利擁護事業に「日常生活自立支援事業」を追加してほしい。日常生活自立支援事業は、これから重要となる事業であるため。

→事務局回答：選択肢 4 を「日常生活自立支援事業・地域福祉権利擁護事業」に修正を行う。

■問 2 7 の選択肢に避難所までの交通手段がないを追加してほしい。

→委員意見：災害時支援を必要としている人の集約は行ってあるのか。

→事務局回答：防災と協力して集約しており、現在 2,000 人程度集約している。要配慮者や福祉避難所については、個別の防災計画にて反映させる。この設問については、交通手段について追加するよう修正を行う。

■問 3 3 以降の回答は、優先順位を付けて回答する方が、ニーズをより把握できて良いのでは。

→事務局回答：優先順位を付ける方向性で検討する。

■問 3 5 は、障がいの有無のクロス集計をしっかりともらいたい。当事者の意見がほしい。

→事務局回答：問 1、2 の基本情報に障がいの有無についての設問がないため難しいが検討を行う。障がい者個別計画にて対応していきたい。

■問 3 5 選択肢 1 5 権利擁護の推進を、権利擁護支援体制の充実に修正してほしい。

→事務局回答：権利擁護支援体制に修正を行う。

→委員意見：今後当事者の意見を反映させるとより良いものになるのではないかと
思う。

→事務局回答：全体的に、印刷するページ数の関係もあるので、可能な範囲で皆様
のご意見を反映していきたい。

9 配布資料

- (1) 会議次第
- (2) 嘉麻市地域福祉計画策定委員会条例
- (3) 嘉麻市地域福祉計画策定委員会条例施行規則
- (4) 第 2 期「嘉麻市地域福祉計画」策定委員会スケジュール（案）
- (5) 地域福祉の推進に関するアンケート調査の概要
- (6) 地域福祉の推進に関するアンケート調査（案）
- (7) 関係各種計画